

総務省・京都大学合同  
電気通信事業分野における競争状況の評価2014  
利用者アンケート調査分析

# 事業者変更分析

平成27年5月25日

京都大学大学院経済学研究科  
依田高典 研究室

(+ 東京経済大学経済学部 黒田敏史研究室・静岡大学情報学部 高口鉄平研究室)

## ○調査及び分析について

競争評価では、市場画定に必要となるサービス間の代替性等の把握のため、需要者である利用者からの情報を積極的に収集し、併せて競争状況の分析に活用するため、利用者に対するアンケートを実施している。

本分析は、2014年度実施の上記の利用者アンケート(詳細は下記参照)の結果に基づき、特に利用者における事業者変更の状況についての分析を行ったもの。

なお、分析に当たっては、京都大学大学院経済学研究科依田高典研究室を中心に、東京経済大学経済学部黒田敏史研究室、静岡大学情報学部高口鉄平研究室の協力により実施している。

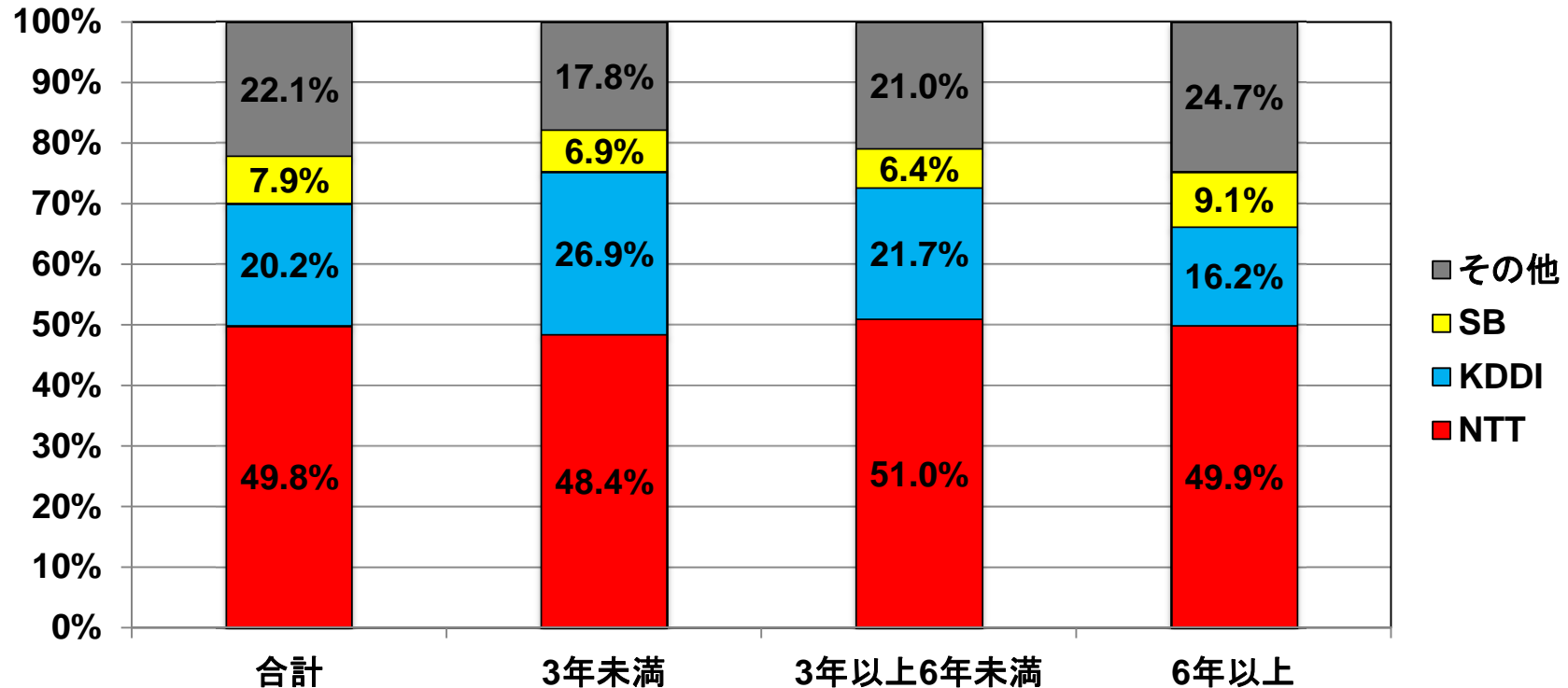
### (参考)利用者アンケートの概要

項目	内容
調査方法	Webによるアンケート調査
対象	固定及び移動通信利用者 : 2,129名 移動通信のみの利用者 : 1,037名
スケジュール	固定及び移動通信利用者に対するアンケート : 2015年 2月20日実施 移動通信のみの利用者に対するアンケート : 2015年 2月24日実施

# 固定BBサービス

- 1.1 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者別)
- 1.2 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者別)
- 2.1 現在利用する固定BBサービスの前に利用していたサービス
- 3.1 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者継続利用別)
- 3.2 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者継続利用別)

## 1.1 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者別)

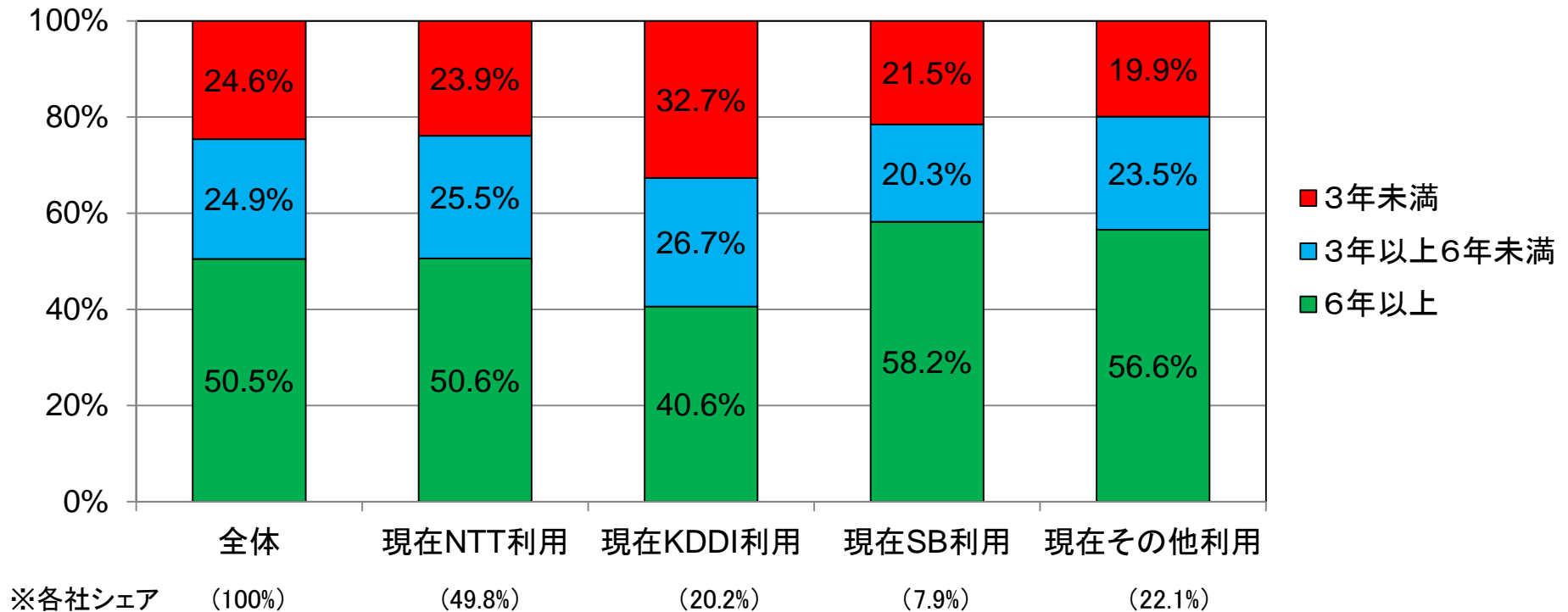


※契約年数シェア (100%) (24.6%) (24.9%) (50.5%)

注：利用者アンケートに基づく。したがって、分析対象は基本的に固定BBサービス全般だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定の固定インターネット接続回線サービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- NTTグループは全体で50%のシェアを持つ。その傾向は安定している。
- 3年未満では、KDDIグループが27%のシェアを持ち、高めに出ている。
- 6年以上では、その他が25%のシェアを持ち、高めに出ている。

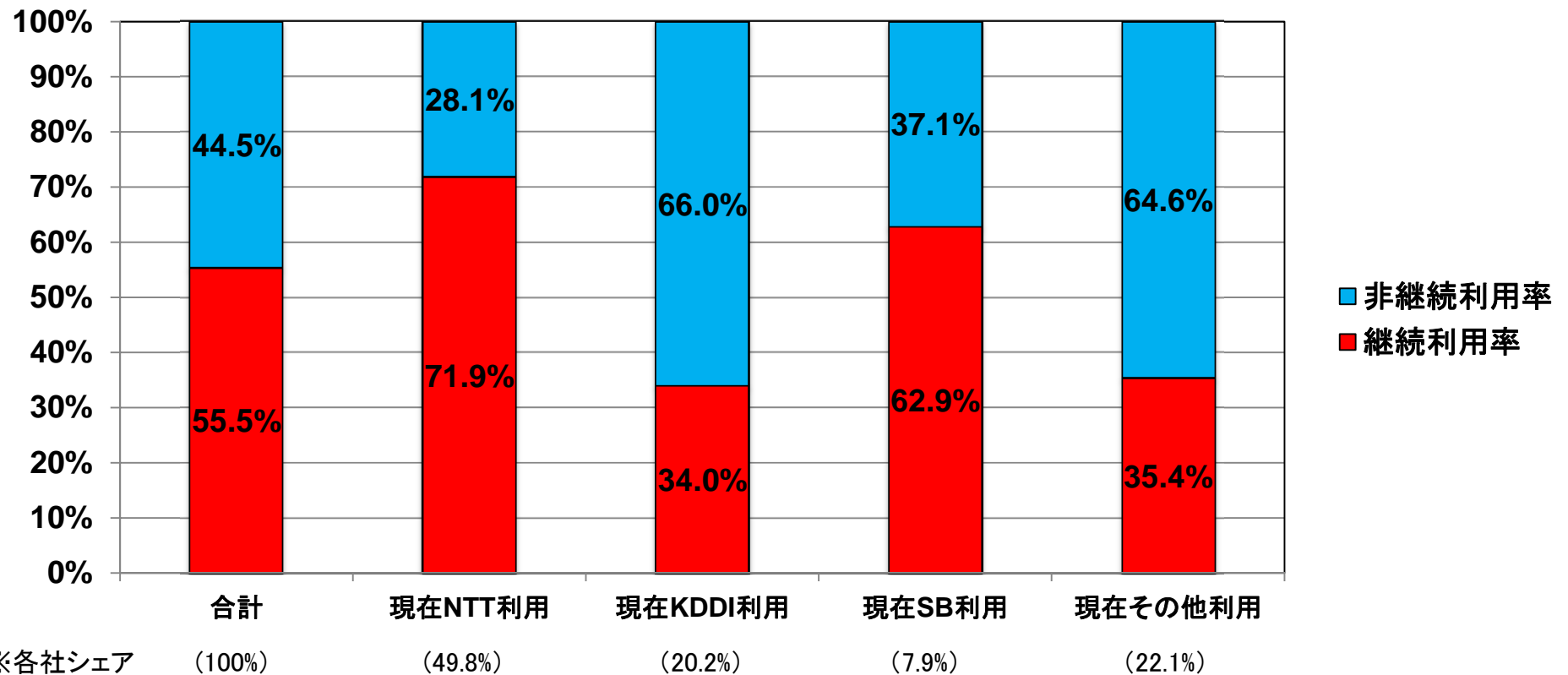
## 1.2 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者別)



注：利用者アンケートに基づく。したがって、分析対象は基本的に固定BBサービス全般だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定の固定インターネット接続回線サービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 全体では長期(6年以上)の契約者が50%を超える。
- NTTグループの長期契約者の比率は51%と、ほぼ全体に等しい。
- KDDIグループの長期契約者の比率は41%と、全体よりも低い。他方で、3年未満比率が33%と大きい。バリュー割引の効果か。
- SBグループの長期契約者の比率は58%と、全体よりも高い。
- その他事業者の長期契約者の比率は57%と、全体よりも高い。

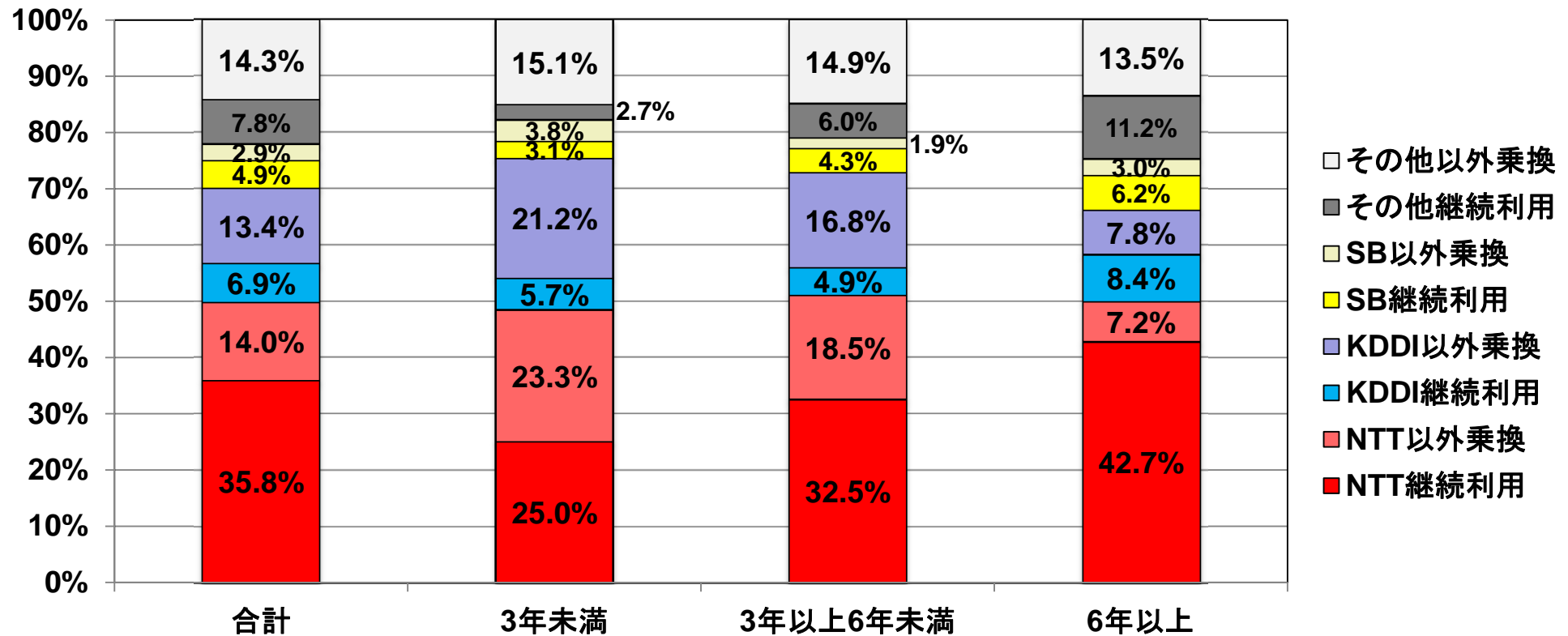
## 2.1 現在利用する固定BBサービスの前に利用していたサービス



注：利用者アンケートに基づく。したがって、分析対象は基本的に固定BBサービス全般だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定の固定インターネット接続回線サービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 特定の事業者のサービスを継続して利用した比率は平均**56%**。
- NTTグループのサービスを継続利用した比率は**72%**と大きい。他社サービスからの乗換が**28%**と小さい。
- KDDIグループのサービスを継続利用した比率は**34%**。他社サービスからの乗換が**66%**と大きい。
- SBグループのサービスを継続利用した比率は**63%**。
- その他の事業者のサービスを継続利用した比率は**35%**。

### 3.1 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者継続利用別)

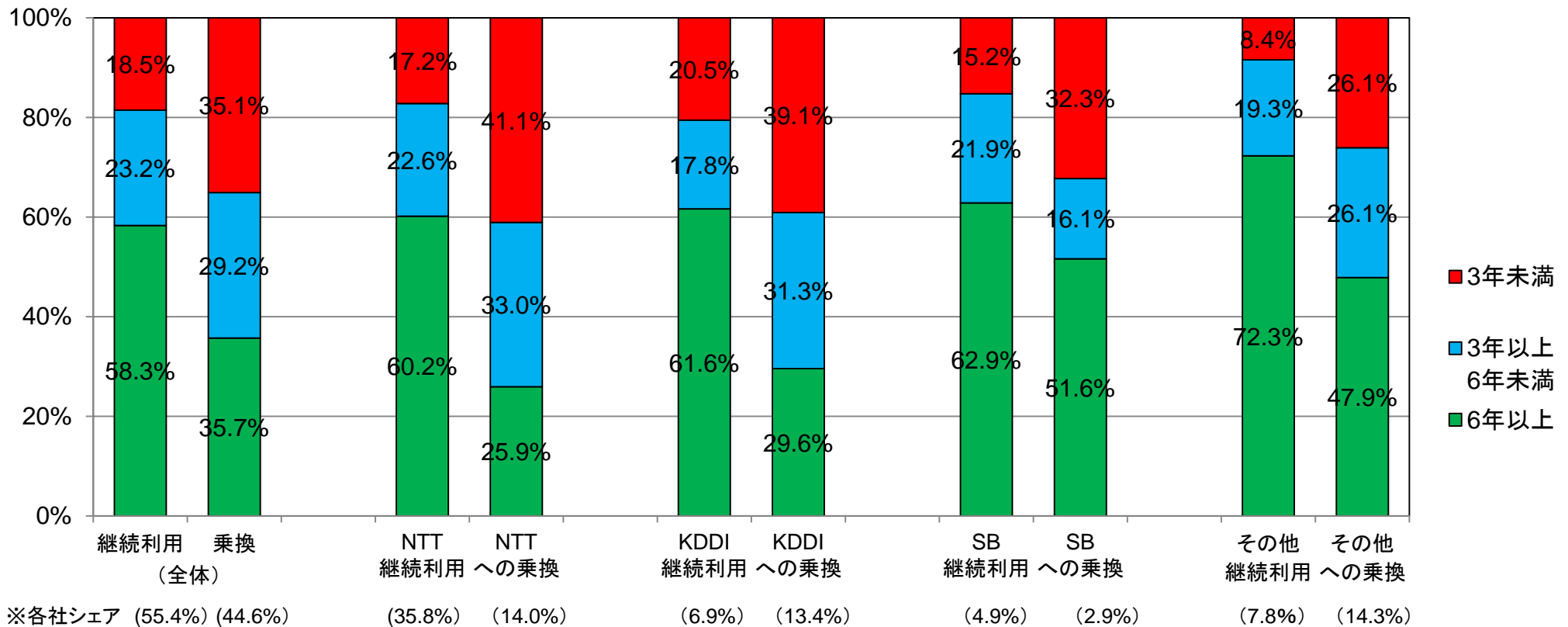


※契約年数シェア (100%) (24.6%) (24.9%) (50.5%)

注: 利用者アンケートに基づく。したがって、分析対象は基本的に固定BBサービス全般だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定の固定インターネット接続回線サービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 6年以上では、継続利用者の比率が大幅に高い(69%)。(68.5%=42.7%+8.4%+6.2%+11.2%)
- 3年未満では、乗換者の比率が増える(63%)。(63.4%=23.3%+21.2%+3.8%+15.1%)

## 3.2 現在の固定BBサービスの契約年数(事業者継続利用別)



注1: 利用者アンケートに基づく。したがって、分析対象は基本的に固定BBサービス全般だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定の固定インターネット接続回線サービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

注2: 本分析では、同一事業者のADSL・FTTHなど規格の違いは考慮してしない。したがって、NTTのADSLからFTTHへアップグレードした場合は継続利用として扱っている。

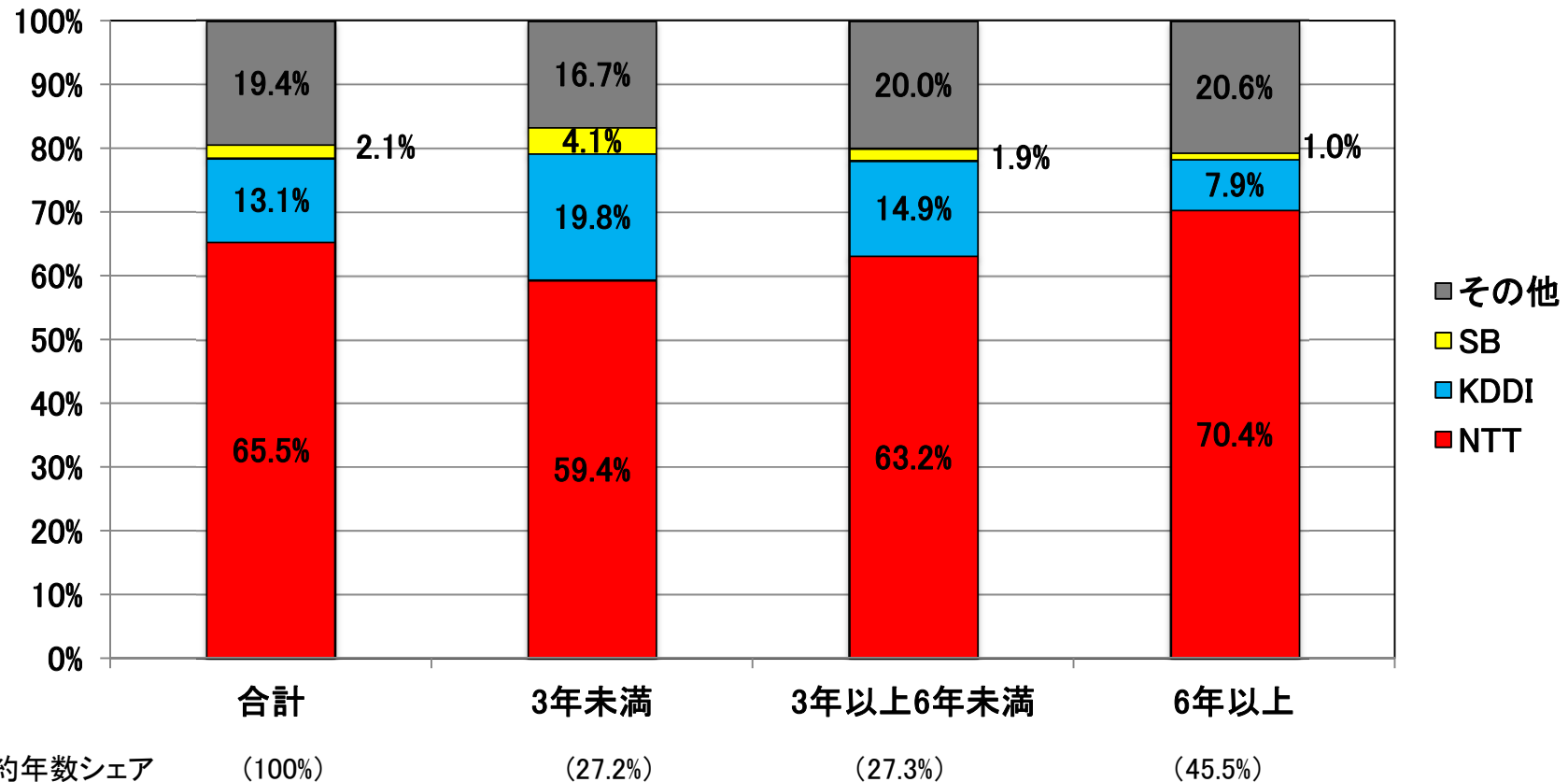
- 継続利用する者のうち、長期契約者の比率は58%。他社からの乗換者は36%。
- NTTグループを継続利用する長期契約者の比率は60%。NTTグループへの乗換は26%。
- KDDIグループを継続利用する長期契約者の比率は61%。KDDIグループへの乗換は30%。
- SBグループを継続利用する長期契約者の比率は63%。SBグループへの乗換は52%。
- その他事業者を継続利用する長期契約者の比率は72%。その他事業者への乗換は48%。



# FTTHサービス

- 4.1 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者別)
- 4.2 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者別)
- 5.1 現在利用するFTTHサービスの前に利用していたサービス
- 6.1 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者継続利用別)
- 6.2 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者継続利用別)

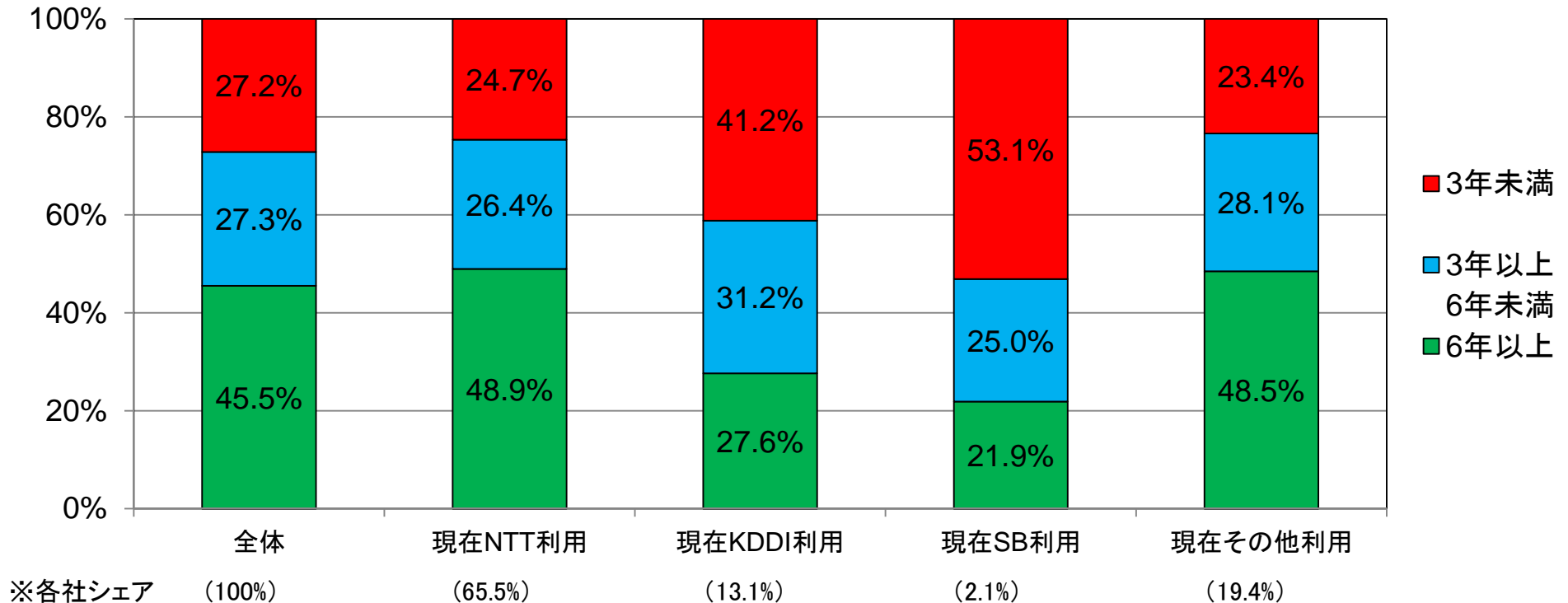
## 4.1 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者別)



注：利用者アンケートに基づく。本分析は基本的にFTTHサービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定FTTHサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- **NTTグループ**は全体で**66%**近いシェアを持つ。そのシェアは低下している(**6年以上70%**から**3年未満59%**)。
- 他方、**KDDIグループ**のシェアは増加している(**6年以上8%**から**3年未満20%**)。

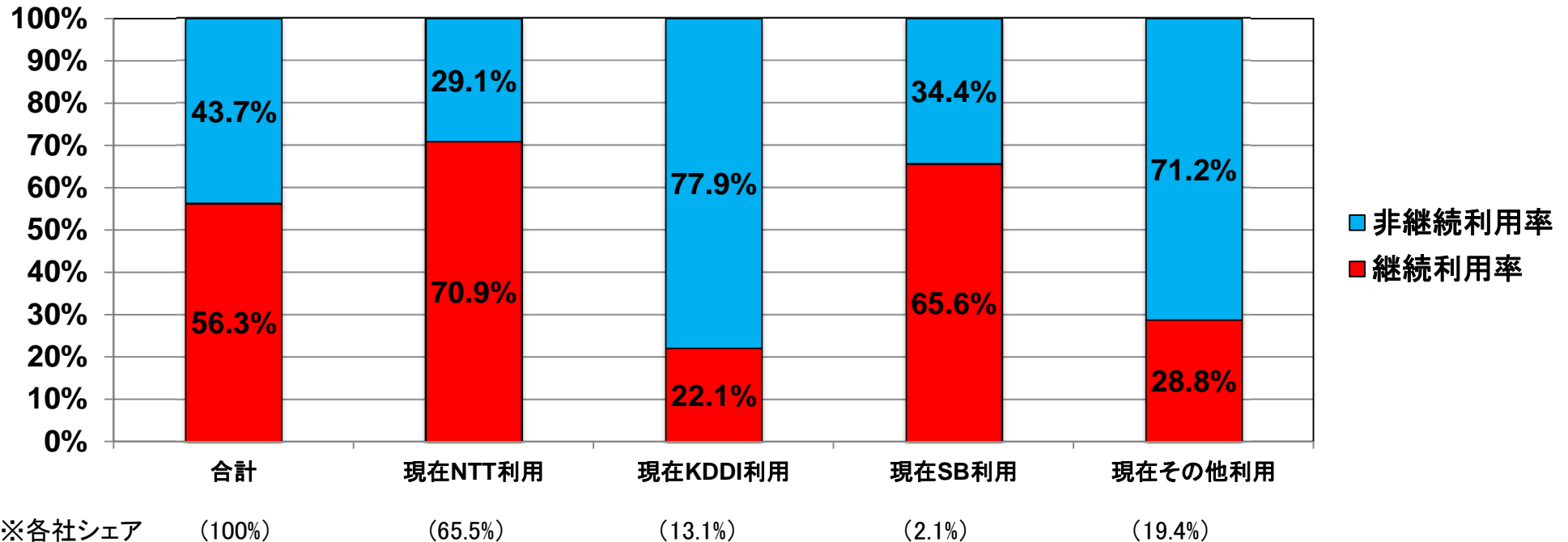
## 4.2 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者別)



注：利用者アンケートに基づく。本分析は基本的にFTTHサービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定FTTHサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- FTTHユーザで長期(6年以上)の契約者が46%と、固定BB(51%)よりも低下する。
- FTTHユーザでNTTグループの長期契約者の比率は49%と、ほぼ全体に等しい。FTTHユーザでKDDIグループの長期契約者の比率は28%と、全体よりも低い。他方で、3年未満比率が41%と大きい。バリュー割引の効果か。
- FTTHユーザでSBグループの長期契約者の比率は24%と、全体よりも低い。ただしシェアが低いので明確なことは言えない。
- FTTHユーザでその他事業者の長期契約者の比率は49%と、ほぼ全体に等しい。

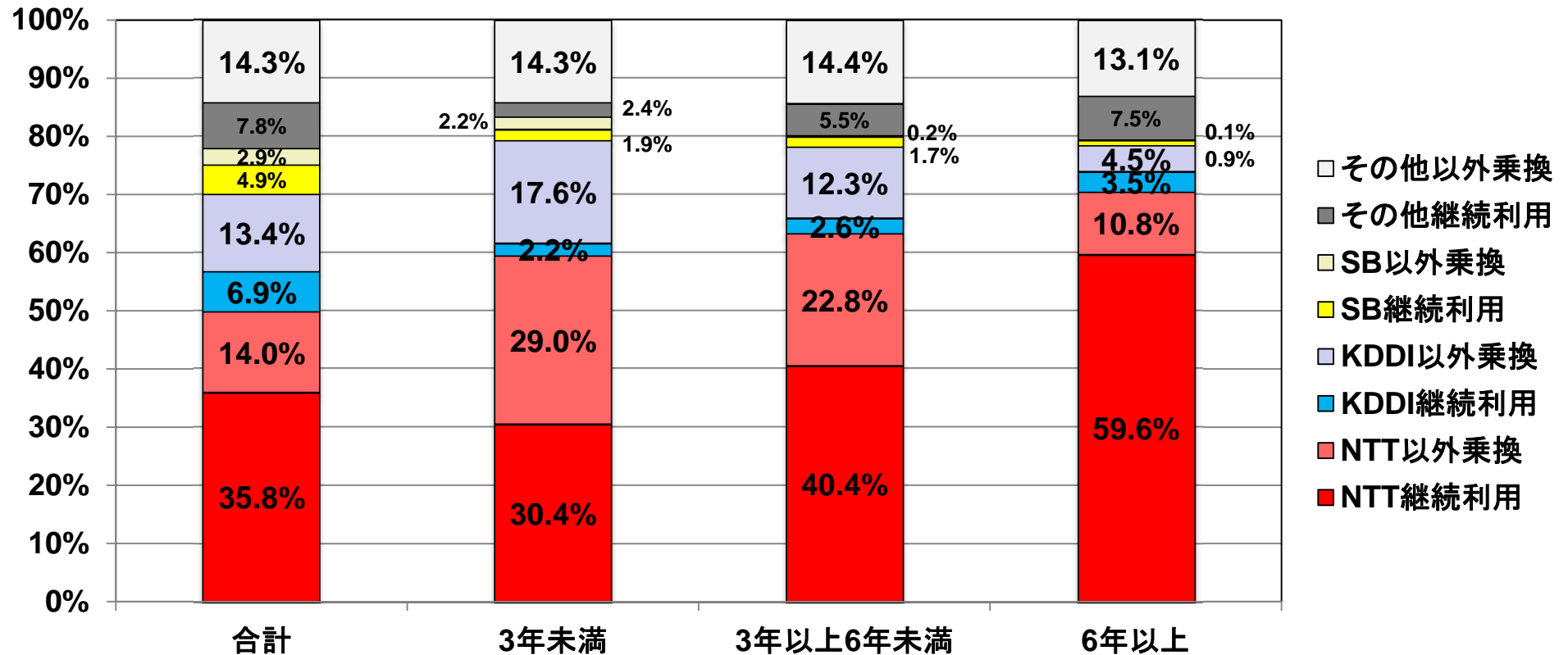
## 5.1 現在利用するFTTHサービスの前に利用していた固定BBサービス



注：利用者アンケートに基づく。本分析は、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定サービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 特定の事業者のサービスを継続利用した比率は平均**56%**。
- NTTグループのサービスを継続利用した比率は**71%**と大きい。
- KDDIグループのサービスを継続利用した比率は**22%**と小さい。他社サービスからの乗換が**78%**と大きい。
- SBグループのサービスを継続利用した比率は**66%**。
- その他事業者のサービスを継続利用した比率は**29%**。

## 6.1 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者継続利用別)

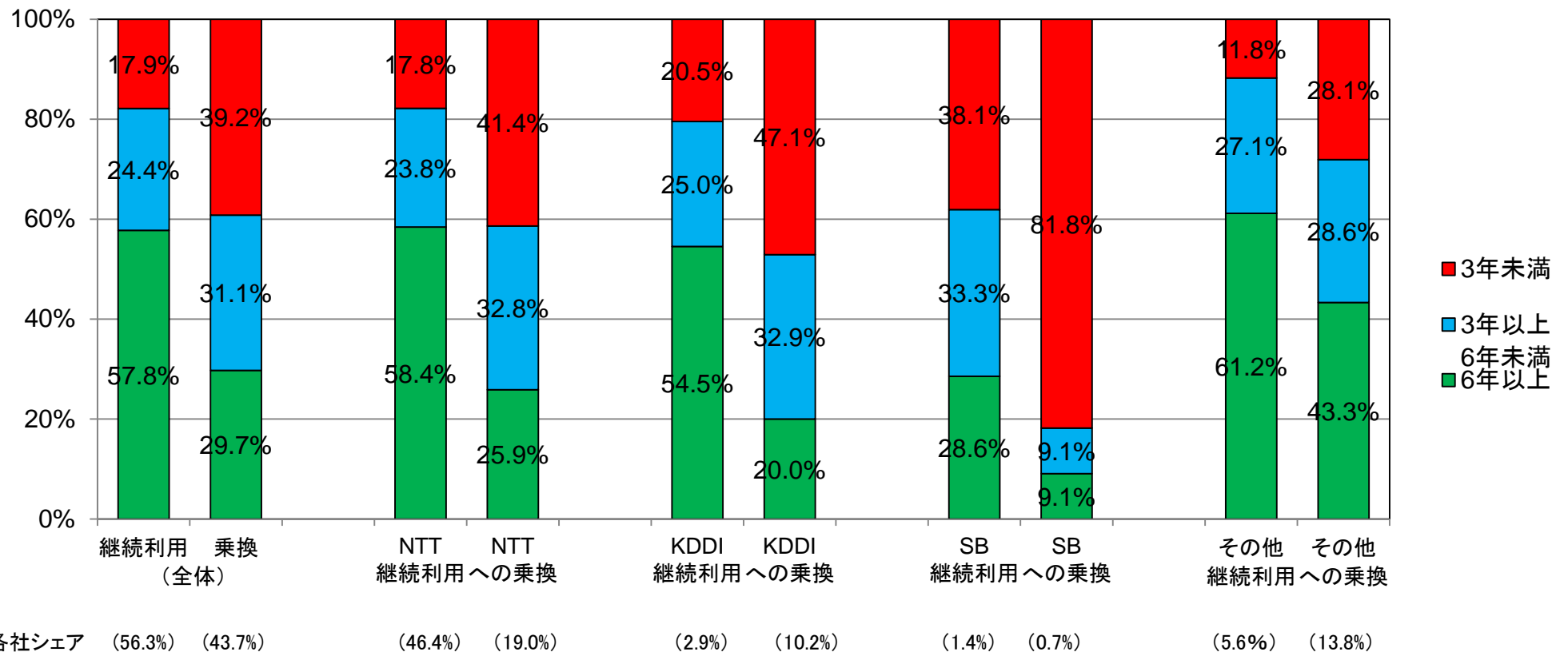


※契約年数シェア (100%) (27.2%) (27.3%) (45.5%)

注：利用者アンケートに基づく。本分析は基本的にFTTHサービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定FTTHサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 6年以上では、継続利用者の比率が大幅に高い(72%)。(71.5%=59.6%+3.5%+0.9%+7.5%)
- 3年未満では、乗換者の比率が増える(63%)。(63.1%=29.0%+17.6%+2.2%+14.3%)

## 6.2 現在のFTTHサービスの契約年数(事業者継続利用別)



注：利用者アンケートに基づく。本分析は基本的にFTTHサービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定FTTHサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 継続利用する長期契約者の比率は58%。他社からの乗換者は30%。
- NTTグループを継続利用する長期契約者の比率は58%。他社からの乗換者は26%。
- KDDIグループを継続利用する長期契約者の比率は55%。他社からの乗換者は20%。
- SBグループを継続利用する長期契約者の比率は29%。他社からの乗換者は14%。
- その他事業者を継続利用する長期契約者の比率は61%。他社からの乗換者は44%。

# 移動体通信サービス

7.1 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者別)

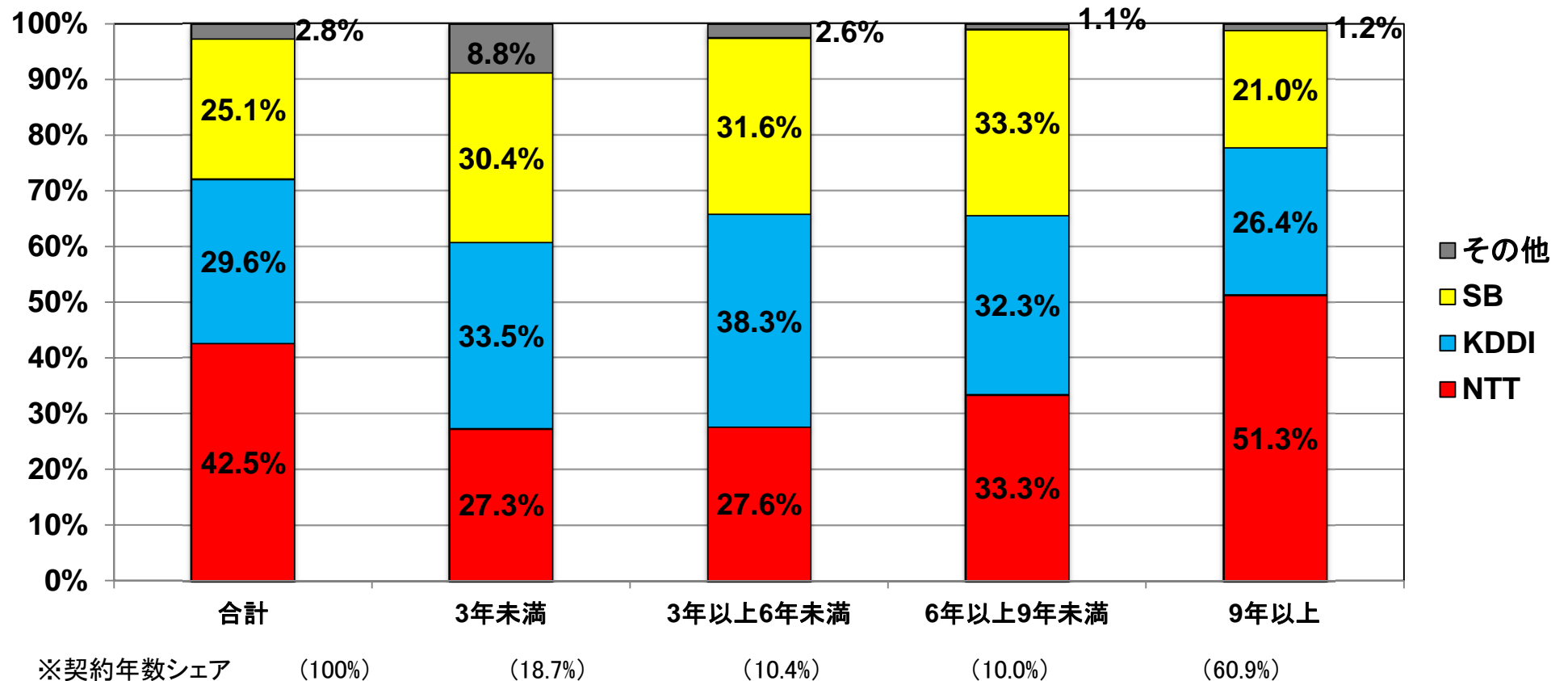
7.2 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者別)

8.1 現在利用する移動体通信サービスの前に利用していたサービス

9.1 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者継続利用別)

9.2 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者継続利用別)

## 7.1 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者別)

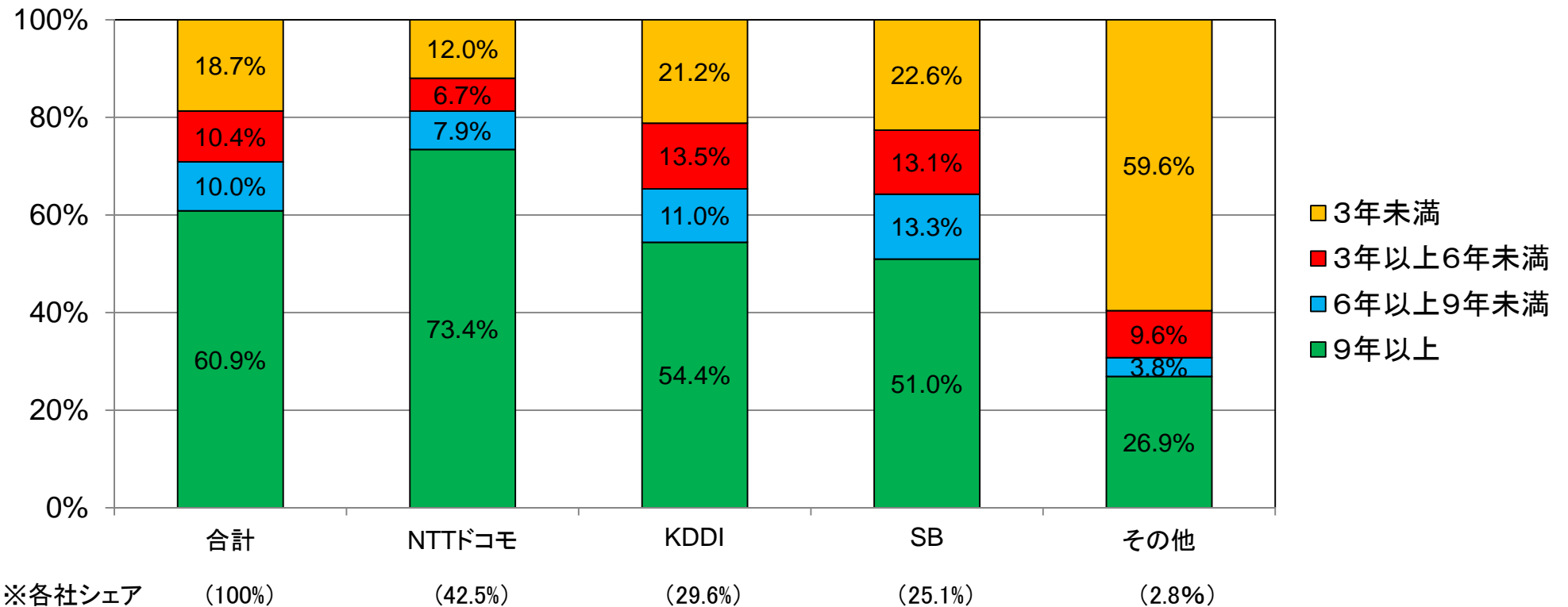


注：利用者アンケートに基づく。本分析は基本的に移動体通信サービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定のサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- NTTドコモは全体で40%以上のシェアを持つ。特に長期保有者(9年)のシェアが高い。
- 3年未満では、KDDIグループ及びSBグループが30%前後のシェアを持つ。
- 9年以上では、NTTグループが50%以上のシェアを持つ。



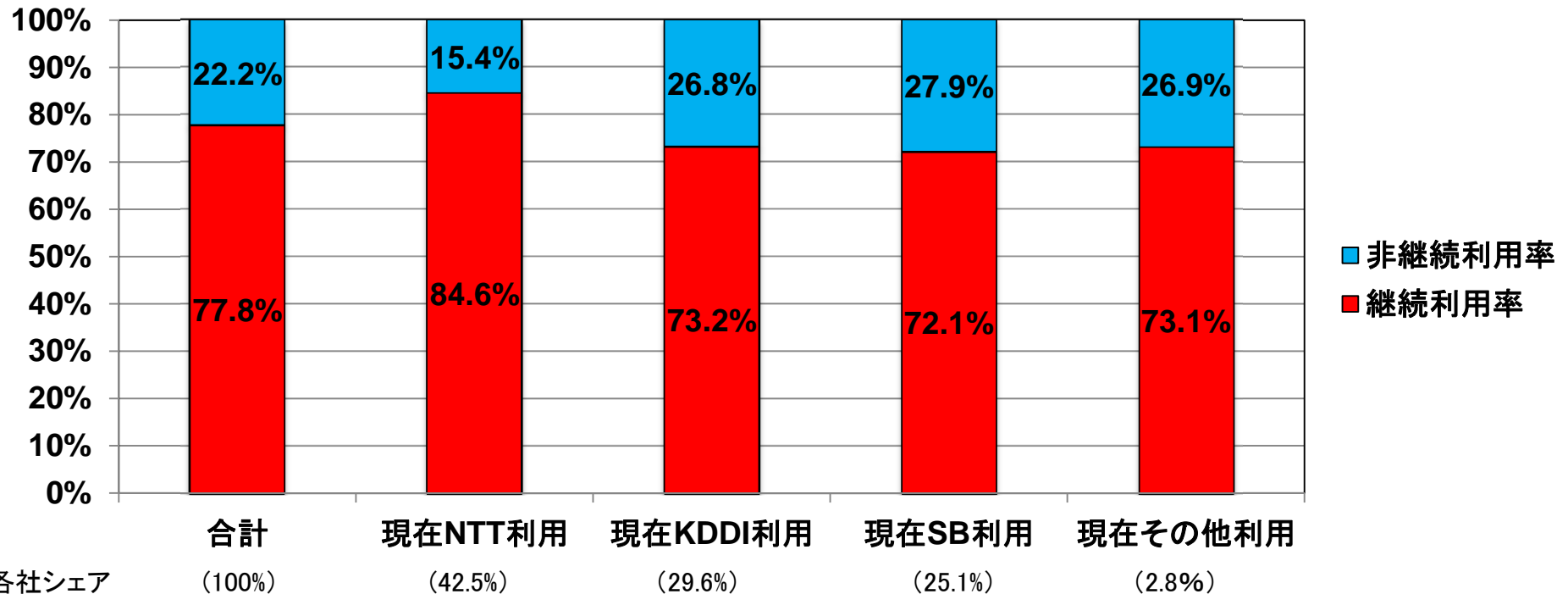
## 7.2 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者別)



注：利用者アンケートに基づく。本分析は基本的に移動体通信サービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定のサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 長期(9年以上)の契約者が61%に達する。
- NTTドコモの長期契約者の比率は73%と、全体よりも高い。
- KDDIグループの長期契約者の比率は54%と、全体よりも低い。
- SBグループの長期契約者の比率は51%と、全体よりも低い。
- その他事業者(MVNOなど)の長期契約者の比率は27%と全体よりも低く、シェア自体も低い。

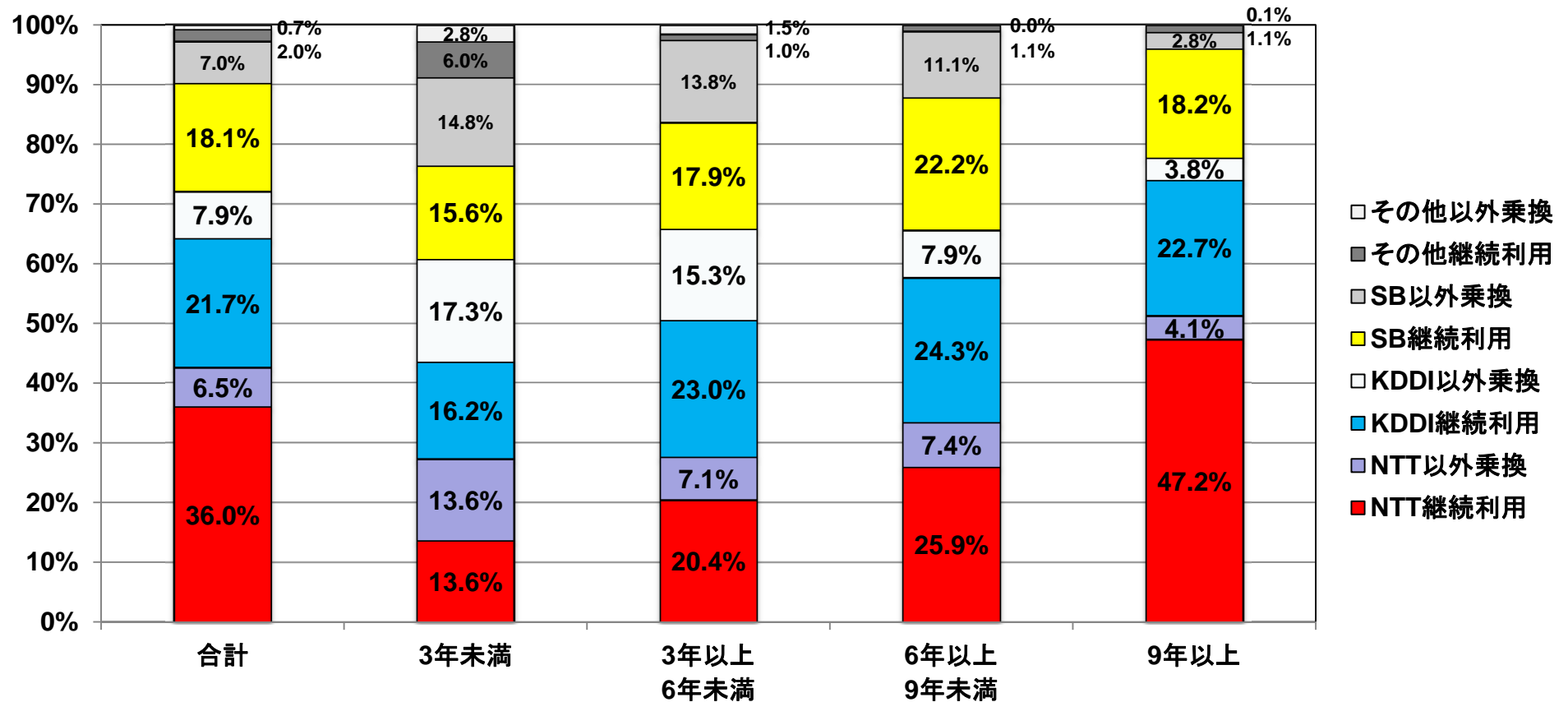
## 8.1 現在利用する移動体通信サービスの前に利用していたサービス



注：利用者アンケートに基づく。本分析は基本的に移動体通信サービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定のサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

- 特定の事業者のサービスを継続利用した比率は平均**78%**。
- NTTドコモのサービスを継続利用した比率は**85%**と全体より大きい。他社からNTTドコモへのサービス乗換が**15%**と小さい。
- KDDIグループのサービスを継続利用した比率は**73%**と全体より小さい。
- SBグループのサービスを継続利用した比率は**72%**と全体より小さい。
- その他事業者のサービスを継続利用した比率は**73%**と全体より小さい。

## 9.1 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者継続利用別)



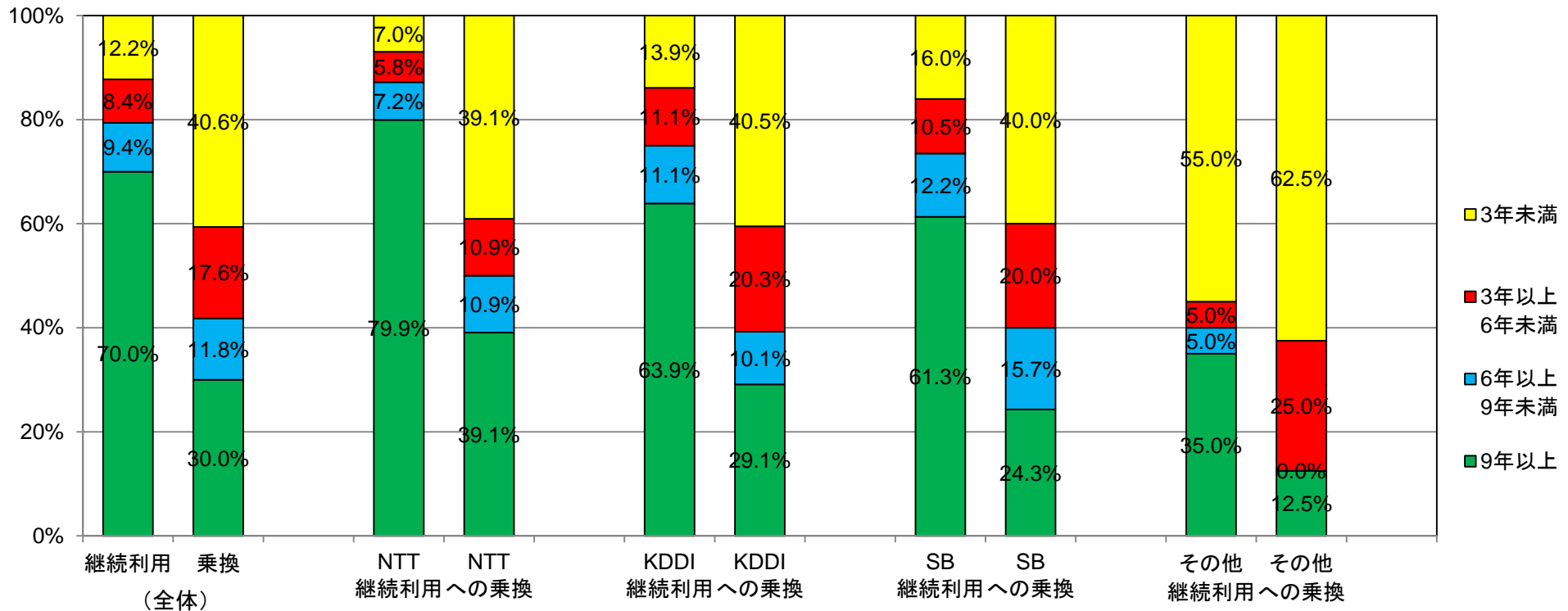
※契約年数シェア (100%) (18.7%) (10.4%) (10.0%) (60.9%)

注1: 利用者アンケートに基づく。本分析は基本的に移動体通信サービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定のサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

注2: 継続サービスについては、同一の事業者が提供するサービスの変更は継続扱いとしている。例えば、2Gから3G、3GからLTEへのアップグレードも継続利用と見なす。

- 9年以上では、継続利用者の比率が大幅に高い(89%)。(89.3%=47.2%+22.7%+18.2%+1.1%)
- 3年未満では、乗換者の比率が増える(49%)。(48.5%=13.6%+17.3%+14.8%+2.8%)

## 9.2 現在の移動体通信サービスの契約年数(事業者継続利用別)



※各社シェア (77.8%) (22.2%) (36.0%) (6.5%) (21.7%) (7.9%) (18.1%) (7.0%) (2.0%) (0.7%)

注1: 利用者アンケートに基づく。本分析は基本的に移動体通信サービス全般が対象だが、利用者アンケートで回答のあった特定事業者の提供する特定のサービスに限定されるもの。網羅的な結果ではないことは注意が必要。

注2: 継続サービスについては、同一の事業者が提供するサービスの変更は継続扱いとしている。例えば、2Gから3G、3GからLTEへのアップグレードも継続利用と見なす。

- 継続利用する長期契約者の比率は70%。他社からの乗換者は30%。
- NTTドコモを継続利用する長期契約者の比率は80%。他社からの乗換者は39%。
- KDDIグループを継続利用する長期契約者の比率は64%。他社からの乗換者は29%。
- SBグループを継続利用する長期契約者の比率は61%。他社からの乗換者は24%。
- その他事業者を継続利用する長期契約者の比率は35%。他社からの乗換者は13%。